



鹿児島市のまちと人の関係案内誌

PLAY CITY!

CATALOG

2019-2020

TENMONKAN / MEIZAN / KANMACHI / ISO / SAKURAJIMA
EIMON / TAKENOHASHI / KISHABA / TANIYAMA / KIIRE



はじめに

2020年、新型コロナウイルスは、
私たちの生活をガラリと変えました。

「新しい生活様式」という言葉とともに、オンラインが普及し、
生き方や暮らし方、働き方を見つめ直す方も多かったのではないのでしょうか。

2019年から鹿児島市を愛する多くの皆さんとつくってきたPLAY CITY! DAYSも、
2020年は大きな転換点でした。

1年目の2019年は、154名の仲間が集まりました。
対面での集まるワークショップだからこそ
生まれる熱量や繋がりがありました。

2年目の2020年。コロナ禍での開催でも
126名の仲間がオンラインで集まりました。
小さな一歩を踏み出す期間は、苦しい決断を行うこともありましたが、
オンラインだからこそ、
一歩を踏み出した感動やまちを楽しむ想いが確かなものとして、
私たちには残りました。

そんなPLAY CITY! DAYSの軌跡を辿ることができるよう、
この一冊が生まれました。

まちを楽しみたい全ての皆さまの参考になれば幸いです。

※ 2020年の活動での集合写真は、撮影時のみマスクを外しています。

CONTENTS

- 03 はじめに
- 04 PLAY CITY! DAYS
- 06 天文館
- 08 名山
- 09 上町・磯
- 10 桜島／栄門
- 12 武之橋／騎射場
- 13 谷山
- 14 喜入
- 15 仲間と楽しんだアクション
- 16 PLAY CITY! パートナーズ
- 17 PCD2019参加者の今
- 18 鹿児島市シティプロモーション
戦略ビジョンを読み解く
- 19 おわりに

まちを楽しみながら鹿児島市への想いを深める

略して、PCD!

PLAY CITY! DAYS

2019年・2020年に鹿児島市が開催した「PLAY CITY! DAYS」。
その概要とプログラムの流れをご紹介します。

PLAY CITY! DAYSとは？

PLAY CITY! DAYSは、楽しむことを大切にまちの魅力を発見し、磨き、発信していく4ヶ月間のプログラムです。チームで動画を制作したり、まちを楽しむ企画を考えて実践して、SNS等で情報発信したりしました。「鹿児島市が好き！」「鹿児島をもっと楽しみたい！」という方々を募り、2年間で、のべ280名の鹿児島市を愛する皆さんと一緒にまちを楽しみました。

PLAY CITY! DAYSが大切にしたいこと

「義務感ではなくわくわく感」という言葉を初年度から大事にしています。ここでの取り組みがやらなくてはいけないことになってしまうと、楽しめなくなってしまいます。そうなることは運営側も望んでいません。「あ、このままで楽しめないかもしれない」そんな時は少し立ち止まって、休憩してみることも大事。また楽しめたくなったら、いつでも戻って来られて、同じようにみんな楽しんで、そんな仲間たちでいたいと思っています。

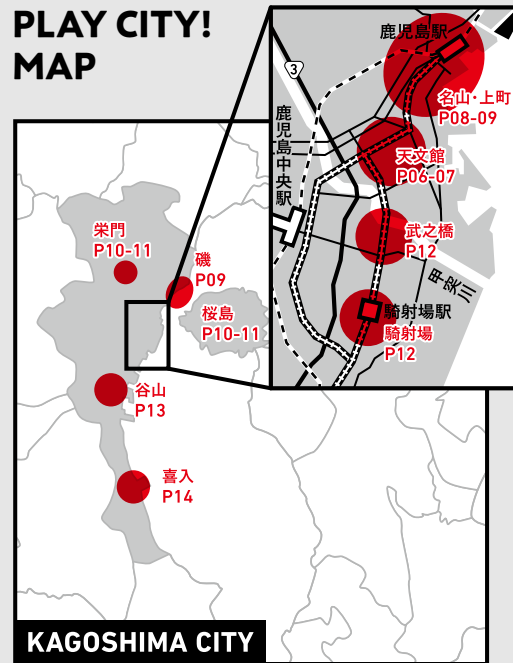
PLAY CITY! 用語

▶ **まち** 鹿児島市内の生活圏や文化圏でつながる町や地域。2020年PCDではPLAY CITY! BASEとナビゲーターの協力が得られた9つのまち(天文館、名山、上町、栄門、武之橋、桜島、騎射場、谷山、喜入)を参加者の活動するフィールドとして設定しました。

▶ **PLAY CITY! BASE** まちと参加者をつなげる場所や団体。2020年PCDでは、各まちに1か所(天文館は2か所)設定。PCDメンバーがまちあるきをする際の集合や打合せ場所であり、また、プログラム以外でもまちとつながり続ける関係案内所でもあります。

▶ **ナビゲーター** BASEのオーナー(所有者・経営者)や、オーナーとの関わりが深い方など、PLAY CITY! DAYSの意図を理解している方々です。撮影場所や、地域の方との調整、企画に対するアドバイスをを行います。

▶ **サポーター** ナビゲーターと共に2020年のPCDメンバーの活動を補助する2019年のPCDメンバー。メンバーが活動を行う上でのアドバイスやサポートを行います。各まちに1名(天文館は2名)付きます。



なんと!
2年間で生まれた動画と企画
動画: **42**本 企画: **27**件

PCD2019
プロジェクト
カタログ



PCD2020
各チーム
の制作動画



2019

2019.09 → 2019.12

PLAY CITY! DAYS スタート!!

動画制作を通して、まちの魅力を発見！ 個人のやりたいことをベースに小さな一歩を踏み出しました。

PCD2019の様子



DAY1
100名以上が初対面！ お互いを知り、シティプロモーションとは何かを共有しました。そして動画制作のチームを発表。レクチャーを受け、作戦会議！

DAY2
22チームが鹿児島市の魅力を紹介した動画をお披露目！ また、17人がまちを楽しむ小さな一歩を発表。新たに17の企画チームを結成しました。

FES
企画チームが踏み出した小さな一歩の発表会！ まちを一番楽しんだ人・チーム、「ありがとう」を集めた人を表彰しました。

DAY3
動画制作、小さな一歩に取り組んだ4ヶ月間を振り返り、修了証書を授与！ それぞれが鹿児島市とのこれからの関わりを考えました。

講師・ゲスト 動画制作・企画づくりを進める上での講演やみんなが踏み出した小さな一歩へのコメントをいただきました！



山下彰太さん
(クリエイティブディレクター)
スマホアプリを使った動画制作についてレクチャー！ PCDの活動をまとめた動画も制作。



木藤亮太さん
(株式会社油津応援団)
DAY2で油津商店街再生のストーリーとまちの楽しみ方・繋がり方について特別講演！ DAY3にはサプライズ登場も。



柴さとみさん
(MBCタレント)
FESの特別ゲストとして参加。企画チームの発表に愛のあるコメントをいただきました。

2019年の参加者や関係者を巻き込み、PLAY CITY! BASEを設け、ナビゲーター・サポーターを迎え次のステージへ！

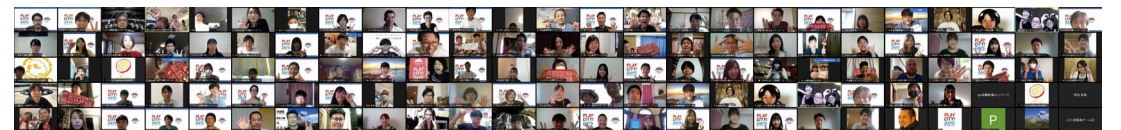
2020

2020.08 → 2020.11

全編オンラインでの開催に挑戦！

100名以上がオンラインで一堂に集い、9つのまちに分かれて、チームを結成。動画制作とそれぞれのまちの魅力を磨く企画に取り組みました。

PCD2020の様子



DAY1
100名以上がオンラインで初対面！ 動画制作のレクチャーを受け、まちに分かれてバーチャルまちあるき&20の動画チームで作戦会議。

DAY2
動画の企画を発表。撮影・編集のレクチャーを受け、役割を考えるなどにまちに飛び出す準備をしました。

DAY3
20本の動画をお披露目し、感想をシェア！ その後、まちを楽しむ小さな一歩を考えました。

DAY4
各まちで取り組んだ、まちを楽しむ小さな一歩を発表。それぞれがこれからの鹿児島市との関わりを考えました。

講師 動画撮影・編集、情報発信、写真撮影、ライティングについてレクチャーしていただきました！



山下彰太さん
(クリエイティブディレクター)
2020年も動画制作レクチャーはこの方に。前年度よりもさらにパワーアップ！



中園信吾さん
(KagoshimaniaX編集長)
情報発信をする上で大事にしてほしいポイントをレクチャーいただきました。



依田はるかさん
(鹿児島朝活 公式インスタマガジン)
スマホを使った写真撮影や編集のテクニック、写メラマン講座。



白水梨恵さん
(フリーライター/Ten-Lab)
サクッとかけるブログの書き方と、読み手の心を動かすコツをレクチャー。

天文館

TENMONKAN

言わずと知れた鹿児島最大の繁華街。老舗と新しい店、郷土料理を提供する飲食店からファッション、エンターテインメントといった様々なお店が軒を連ね、子供からお年寄りまで行き交うまちです。そんな魅力あふれる天文館を楽しみ、深掘りし、盛り上げる企画がたくさん生まれました。



PLAY CITY! BASE

有馬明治堂

創業明治38年、鹿児島で100年以上も商売を続けている老舗ジュエリー店。四代目有馬明治さんはコロナ禍でも天文館に元気を届ける天文館ひまわりプロジェクトにも取り組んでいます。

ナビゲーター



有馬明治さん

老舗から若者の店もあり、子供からお年寄りまで行き交うエリアです。

ユナイテッドカフェ

Jリーグクラブ鹿児島ユナイテッドFCのオフィシャルカフェ、通称「ユナはん」。ここでしか味わえないたこ焼きと田仲さんのトークが最高！

ナビゲーター



田仲正明さん

県下有数の繁華街で、オフィス街や住宅もあり、多層的な魅力が！

2019

PROJECT NAME

キラキラ天文館

街角で巨大ミラーボールを回し、ディスコ開催！

子どもから大人まで様々な年代がつながり、交流できるように、天文館が好きな全ての方に届けるディスコを天文館びらも〜で開催。特大ミラーボールは幼稚園児と制作し、DJを呼び、音楽をかけながらみんなで踊るイベントに！



参加者の声 準備段階から天文館の方々と打ち合わせを重ね、PLAY CITY! DAYSのメンバーにも協力を呼びかけ、当日も色々な地域から多くの方が参加。本当にたくさんの方との繋がりができました！



2019

PROJECT NAME

フラッシュモブ

鹿児島市の繁華街で市民が突然演奏を始める！ 踊りだす！

市民が音楽文化に触れているアーティストックなまちになって欲しい！ パフォーマンスをやりたいけど機会がなかった人が活躍できるようにしたい！ そんな想いから天文館ディスコに合わせてフラッシュモブを成功させました。

参加者の声 キラキラ天文館チームとコラボしながら、演奏許可を取ったり、PCD参加者とも一緒に事前練習をしました。当日は、多くの方が足を止めて注目してくださり、嬉しかったです！ 地域との連携で、可能性は広がると感じました。

PROJECT NAME

Deep天文館★路地裏探検隊

南九州随一の繁華街“天文館”の路地裏を探検し、MAP・ブログ・SNSで発信

再開発・世代交代・環境変化が激しい鹿児島の中で、消えゆく“Deepな天文館”を探訪・体感して、記憶と記録にとどめておきたい！ そして、変化の少ない日常生活の中で、新しい出逢いや新鮮な発見を求めている方などに届けるために、路地裏のディープなお店を訪れて発信。

参加者の声 有名な観光地や最新スポットだけでなく、路地裏のアチコチに、魅力的な人や素敵なお店、出逢い、お宝をたくさん発見できて良かったです！ 天文館にはまだまだ知らない魅力が、たくさん埋もれているそうです。



▲[ブログ] 路地裏マップ



2020

PROJECT NAME

今こそ天文館

熱い天文館人と天文館の魅力を探る90分のオンライントークイベント

高校生や大学生の天文館離れを感じている中で、自分たちが感じた天文館の良さや歴史を伝えることで、若い世代が天文館に行くきっかけとなり、昔のような「人混みで通りの向こうが見えない」賑わいを取り戻したいと思い、企画しました。

参加者の声 オンライントークイベント終了後、参加者から「天文館への関心が高まった」という声をたくさんもらいました。時代に合わせて、まちの様子や雰囲気も変化し続ける天文館をもっと好きになりました！



PROJECT NAME

公共交通機関で焼酎ストリート！

車社会の鹿児島で、公共交通機関を使って焼酎を飲みに行きました！

公共交通機関を使って、誰かと一緒なら、誰も犠牲にすることなく思う存分焼酎を楽しめる！ ということで、各自、公共交通機関を利用し、県内各地から焼酎ストリートに集合し、乾杯！ 移動中の様子をムービーに残しました。

参加者の声 公共交通機関で遊びに行くことで、今までよりも飲み仲間が増えました。次もバスで焼酎ストリートに参加したいです！



PROJECT NAME

ハロウィンゴミ拾い

仮装して天文館のゴミ拾い

天文館の風景を美しく残したい、また若者が楽しくまちを歩きながら、地域に貢献したことを大人になった時に思い出してほしいという想いから、ハロウィンの日にコスプレをして天文館でゴミ拾いをしました。

参加者の声 コスプレをすることで、歩いている方から声をかけてもらい、会話に繋がりました！ 鹿児島人はあたたかく、新しいこと、面白いことに注目してくれる人が多い。天文館には思ったよりゴミが落ちていなかったです！



PROJECT NAME

天祭

2020年にできなかったことを天文館で全部やってみよう！

2020年に自粛したことを万全の感染症対策の上で行うなら、天文館は受け入れてくれるという包容力を発信したかった！ 花火を見たり、ゴミ拾いをしたり、中央公園で運動会やテイクアウトの持ち寄りパーティ、着物で初詣などを行いました！

参加者の声 天文館に関わる皆さんのつながりの強さと、天文館を良くしたいという想いの強さを感じました。また、実施していくにつれて新しい魅力が見つかる、深みのあるまちです！



名山

MEIZAN

天文館から歩いて行ける距離にある名山は、昔ながらの2階建ての家屋・店舗が軒を並べる、昭和レトロでノスタルジックなまち。居酒屋やカフェもあれば、ギャラリーもあり、何度通っても飽きないこのまちでは、その雰囲気やあたたかさが伝わるような企画が生まれました。



PLAY CITY! BASE

■ バカンス

11人のオーナーでシェアして集える場を運営。物々交換caféやお茶を飲みながら朝刊を読む定期イベントも開催！

ナビゲーター



加治屋紗代さん 大山承太郎さん 内村桃子さん

昭和の雰囲気が残る名山町で、馴染みのお店が出来るかも。

上町・磯

KANMACHI/ISO

鹿児島駅を中心に、磯や市役所までの広いエリアを上町と呼びます。歴史は古く、鹿児島発祥の地とされ、城や屋敷の跡など風情ある町並みが残っています。磯は鹿児島市民なら誰もが知っているであろう、雄大な桜島が眼前に広がる海水浴場。観光や遊びのイメージが強いこのまちの楽しみ方を提案する企画が生まれました。



PLAY CITY! BASE

■ 上町タウンマネジメント

上町タウンマネジメントは鹿児島市が実施した鹿児島駅周辺のまちづくりワークショップに参加した約50名の有志が立ち上げたPCDの先輩のような団体！

ナビゲーター



松野広行さん 春山 亮さん

鹿児島発祥の地。歴史と文化の玉手箱上町。縄文から昭和まで鹿児島の昔を知れます！

2019



PROJECT NAME 名山まちあるき隊

名山町の人々の営みを紹介するまちあるきマップを作りました！

名山町の人々の温かさ、面白さ、古き良き景観などの魅力を、町外の人にも知って楽しんでほしく、取材協力を許可いただいた店舗に、参加者で取材に行き、編集会議を経て記事に起こし、まちあるきマップver.0を作りました。

参加者の声 活動への理解のために、取材協力依頼を全戸配布したことで、町内にこの活動を応援してくれる人が増えました。マップを作ることで、名山でやりたいこと、知りたいことが明確で多彩になりました！

2020



PROJECT NAME 名山結婚式2020

名山でまちなか結婚式を行い、みんなで演出

コロナ禍で結婚式ができなくなった参加者のために、それぞれの特技を活かしながらコロナ禍でもできる結婚式を名山で小さく開催。また、飲食店が多いエリアなので、事前にいろんな飲食店をリサーチし、参加者に紹介しました。

参加者の声 オンラインで企画を進めましたが、参加者全員で役割分担をして、みんなの特技を集結させました。少人数で行った結婚式では名山で営む人々の温かさを感じました！

2019

PROJECT NAME 堀day

鶴丸城跡のお堀周辺に人が集まるようなきっかけ作りを行いました！

鹿児島の歴史が感じられるお堀周辺の風情ある景色や良さをたくさんの人に知ってもらい、もっと人が集まれば良いと思います。参加者でまちあるきを実施。近隣の店舗に話を聞き、撮った写真や動画をInstagramで上げて、SNSで発信しました。

参加者の声 私たち自身がお堀周辺のことをより深く知ることができ、「こんな歴史もあったんだ！」という発見に繋がりました。また、周辺の隠れ家的なお店など、知らなかった鹿児島市がたくさんあることに気がきました。

PROJECT NAME 磯deこたつ

磯海水浴場に持ち込んだこたつに入り遊びました！

大好きな桜島と錦江湾を望む景色をもっと磨きたい、この魅力的な場所にもっと気軽に楽しく足を運んで欲しいという思いから、まずは自分たちが磯で楽しむため、こたつを持ち込み、こたつにちなんで「こ」のつくモノを持ち寄って遊びました。

参加者の声 「楽しそう！」には惹かれるんだなと感じました。こたつに入って桜島を眺めることで、磯の魅力を再発見でき、とてもいい経験になりました！

2020



PROJECT NAME 上町百景

上町の景色をSNSで残していく上町百景プロジェクト

歴史溢れる上町には、美しい町並みが今でも色濃く残っていて、人々の営みも日常的に見ることができます。そんな魅力に意外と地元住民は気づいていないので、地域の皆さんに上町の魅力に気づいて欲しいと思い、プロジェクトを立ち上げました。

参加者の声 鹿児島にいと桜島がある風景は当たり前になってしまっていますが、改めて鹿児島の風景には桜島が似合うなと思いました。また、Instagramアカウントも多くの方にフォローしてもらいました。



[Instagram] @kanmachi100kei

仲間と楽しんだ“まち”：4

桜島

SAKURAJIMA

鹿児島市のシンボル桜島までは、市街地側からフェリーで15分ほど。今なお活火山として、火山灰を降らせる桜島には多くの観光客が訪れます。海と火山を同時に楽しむことができるこの地域では、風景や食など、桜島を満遍なく楽しむ企画が多く生まれました。

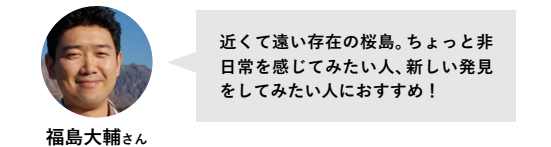
2019



PLAY CITY! BASE

桜島ミュージアム / MINATO cafe
港(みなと)にある皆と(みなと)つくるMINATO Café。桜島ならではのカフェメニューやランチを楽しめて、豊かな時間を過ごせます。

ナビゲーター



近くて遠い存在の桜島。ちょっと非日常を感じてみたい人、新しい発見してみたい人におすすめ！



PROJECT NAME ヒーリングアイランド桜島

「観る」から「癒される」観光地になるように、桜島の様々な魅力を世界中に伝える動画を作成しました！

桜島の魅力と共に桜島の有するエネルギーやパワーを人々に知ってもらいたいと思い、ヒーリングアイランドのイメージ定着を図るために動画を作成し、発信しました。

参加者の声 参加者それぞれの強みと半数が桜島在住ということを生かした役割分担、SNSでのコミュニケーションも使って、かなりの出来栄の動画が完成しました！

仲間と楽しんだ“まち”：5

栄門

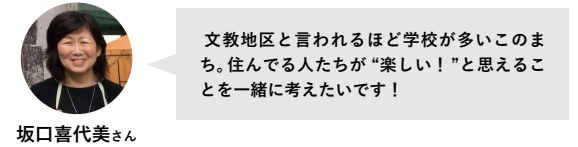
EIMON

中心市街地から車で国道3号を北へ15分ほど進んだ伊敷エリアの中に栄門地区があります。通り沿いは商店で賑わうほか、短大や小・中・高校などの学校、島津氏の庭園など、文教地区としての一面もあります。このまちに関わる人を知り、まちを楽しむ企画が生まれました。

PLAY CITY! BASE

otonari
地域に暮らす人たちが「ホッ」と一息つける場であり、チャレンジショップとして頑張りたい方を応援するお店が2020年5月にオープン。

ナビゲーター



文教地区と言われるほど学校が多いこのまち。住んでる人たちが「楽しい！」と思えることを一緒に考えたいです！

2020

PROJECT NAME

サクラジマニア



Instagramで桜島の魅力を伝えよう！

「桜島の楽しみ方」を磨きたいと思い、ガイドブックに載っていない観光地を巡り、新しい楽しみ方を発信することで、桜島に遊びに来てほしい！そして、桜島を通して、鹿児島市を好きになって欲しいという想いで、遊びながら撮影した動画や写真をInstagramで発信しました。

参加者の声 参加者の属性が違うので、楽しみ方一つとっても、受け取り方が違うのが面白く感じました。投稿は自分たちのペースで、無理なく行いましたが、投稿にいいね！をくれる人など、鹿児島を大好きな鹿児島人がたくさんいることが発見できました。

PROJECT NAME

桜島大根チーム



世界最大の大根「桜島大根」でサラダを作りました！

鹿児島県といえば桜島大根なのに、地元の人が食べないのが勿体ないと思い企画しました。鹿児島の人はもちろん、世界中の人に知ってもらうため、桜島大根でサラダボールを作りました。

参加者の声 桜島大根をくり抜くのも、様々な道具を使って、どれが一番使いやすいかを試行錯誤しました。桜島大根以外にも、かぶなどの鹿児島の名産品を集め、鹿児島島の魅力が詰まったサラダができました！



PROJECT NAME

桜島をまるごと楽しむ

鹿児島市のシンボル桜島を象ったものを探したり、レビューを投稿したりして、まるごと楽しむ

桜島を象ったものを探したり、GoogleMAPのレビューを充実させたり、雨の日を楽しんでみたりしました。お手軽に行けるヒーリングスポットだと思うので、ちょっとした悩みを持つ学生や社会人にお届けしたいです。

参加者の声 はっと目を見張るような感動する眺めと、歴史を感じさせる風景がどちらも存在しています。桜島を何回巡っても、いつも新しい見え方が楽しめるのもっと好きになりました。

2020

PROJECT NAME

笑う栄門に人來たる



▲[Youtube]
栄門お茶会動画

栄門に関わる人への取材と、栄門内外の人が交流するお茶会を開きました！

「笑う栄門に人來たる」というコンセプトのもと、栄門の魅力である、栄門の人々や旧島津氏玉里邸庭園という場所を多くの人に届けるために企画を立ち上げました。動画や瓦版、SNSによる発信で、栄門を体験してもらおうきっかけを作りました。

参加者の声 栄門には魅力がいっぱいです。お外から、情の深い人が多かった。また企画を通して、笑顔で楽しんでいると、少しずつ良い方向に進んでいくことを実感しました。



▲瓦版「栄門と人」

仲間と楽しんだ“まち”：6

武之橋

TAKENOHASHI

甲突川に架かる大きな武之橋は、そのままこのまちの愛称として市民に浸透しています。川沿いに伸びるこのまちは、お散歩やジョギングのコースとして大人気。川沿いから小道に入るとたくさんの魅力的なお店もあります。そんなまちについて足を運びたい企画が生まれました。



SUNNY DAYS COFFEE

PLAY CITY! BASE

SUNNY DAYS COFFEE

自家焙煎コーヒーと焼き菓子のお店。店内では各種イベントやスタジオ撮影などもできます！

ナビゲーター



松下瑞樹さん

市街地の中心部に近く、交通の便も良く、甲突川沿いの少しのどかな空気も感じられます！

2020



PROJECT NAME

武之橋MAPづくり

まちあるきMAPと武之橋をイメージしたオリジナルBGMを制作

武之橋のお店にインタビューをしてまちあるきMAPを、音楽教室の力を借りてオリジナルのBGMを制作しました。ランニングコースとしても人気な武之橋の魅力を多くの市民に伝えたいですし、ランニング後にMAPのお店に行きたくて欲しいです。

参加者の声 快くインタビューに応じてくれるお店の方々の優しさや、川沿いの景色が素晴らしいことに気がきました！ MAPとBGMを作るのは初めてでしたが、まずはやってみることが大事だと感じました。

仲間と楽しんだ“まち”：7

騎射場

KISHABA

鹿児島の学生街「騎射場」。その由来は昔、武士の流鏑馬の練習場があったことによります。居酒屋やカフェがたくさんあるこのまちも新型コロナウイルスの影響を受けています。そんな中でも、騎射場をたっぷり楽しめる企画が生まれました。



ペンギン酒店

PLAY CITY! BASE

騎射場の居酒屋
ペンギン酒店

友人の家に遊びに来たような感覚で、のんびり楽しめる居酒屋。置いてあるお酒は300種類以上！ 土日祝日は昼12時から空いています。

ナビゲーター



岡田六平さん

個人的に騎射場のお店をどんどん開拓してるので、直接でもSNSでも質問ください！ 待ってます！

2020



PROJECT NAME

騎射場ノミカタ

騎射場で一人や初めてでも入りやすいお店を探して、自分たちで行ってみました

まだまだ騎射場のことを知り尽くしていない大学生や、今の騎射場を知りたい社会人のために、コロナ禍でも一人で行けるお店や、初めましてでも入りやすいお店を発信していくために、まずは自分たちで密を避けながら開拓してきました。

参加者の声 初めましてでも、話しかけたら優しく返してくれるお店の方々はとても温かかったです。また、昼と夜で表情が違う騎射場には何度行っても飽きない、そんな魅力がありました！

仲間と楽しんだ“まち”：8

谷山

TANIYAMA



鹿児島市の南部に位置する谷山は、古くからの歴史も伝わる一方、区画整理事業やショッピングモールの進出などで新たな街並みが生まれ、多くの子育て世代が移り住んでいます。そんな谷山をさまざまな角度から楽しむ企画が生まれました。

PLAY CITY! BASE

谷山地区盛り上げ隊

谷山地区の隠れたポテンシャルを引き出すチーム！おしゃれな店からディープな店まで、それぞれの魅力を掲載した谷山呑ん方ブログを発信しています。

ナビゲーター



日高裕之さん

子育て世代も多く住んで、働いている谷山にはいろいろな楽しみ方があります！

2019



PROJECT NAME

谷山地区盛り上げ隊

谷山地区の美味しいお店でご飯を食べて、ブログで紹介

谷山に住んでいながら、天文館で飲む機会の方が多かったけど、谷山にもおいしくて、個性なお店がたくさんあって、その魅力を紹介したいと思い、実際に訪れた12のお店をブログで紹介しました。谷山地区以外の居住者との交流による化学反応がとても楽しかったです。

参加者の声 単なる紹介記事でなく、ブログの中に笑いの要素を入れ、PCD以外にも積極的に告知しました。谷山地区以外の人から谷山最高、楽しいという声をたくさんもらい、谷山の事がますます好きになって、中世の歴史にも興味を持つようになりました。

2020



PROJECT NAME

人生谷あり山あり

谷山なんでも流しを軸に、自主ラジオ企画やゴミ拾いへと発展

訪れた人に愛着のような親近感を感じさせる谷山で、「人生谷あり山あり」をキーワードに、まずは流しそめんに見立てた竹に流したカプセルの中のお題に沿って一人ひとり語り合う「なんでも流し」企画など、自分達が楽しめる企画を行いました。やりたい！という気持ちを応援してくれる参加者ばかりで「仲間が欲しい人」に届けたいです！

参加者の声 住んでいなくても、谷山に来ると谷山が大好きになってしまう不思議な力があります！ また、企画を進めていく上で、楽しむために、無理をしないように、役割分担をしながら進めていきました。



▲[Youtube] なんでも流しまとめ



▲[Youtube] 自主企画ラジオ「谷ラジ」

喜入

KIIRE

喜入は、市の最南部に位置し、南北に長い自然豊かなまちです。南薩地域につながる要衝で、世界最大規模の原油中継備蓄基地があることでも知られています。そんなまちを全力で遊び、魅力を探す楽しい企画が生まれました。



PLAY CITY! BASE

グリーンファーム

鹿児島市観光農業公園、グリーンファーム。農産物直売館や農園レストランのほか、フレッシュな野菜や果物の収穫体験やBBQ、キャンプも楽しめる。

ナビゲーター



橋口 亮さん

大いなる可能性を秘めた町、鹿児島市最南端“キ・イ・レ”。共に本物の“喜び”、体感してみませんか？

仲間と楽しんだアクション

2019年PLAY CITY! DAYSでは、特定のエリアでの活動に限定することなく、鹿児島市の有する魅力を表現・発信したり、丸一日遊び倒したり、鹿児島のクラブチームを応援するといった企画も生まれました！

応援する



PROJECT NAME

鹿児島ユナイテッドFC盛り上げ隊

Jリーグクラブの鹿児島ユナイテッドFCを盛り上げるための活動を行いました！

若い人たちに鹿児島ユナイテッドFCの話題で盛り上がり、欲しいと、まだ試合を観に行っていない人や、県外から来るサポーターに届けるため、白波スタジアムまでの行き方をまとめたマップを作りました！

参加者の声 県外の人目線に立って分かりやすいマップ作りを意識しました！ アクセスだけではなく、鹿児島でしか買えない商品の情報や、試合までの隙間時間に遊べるスポットを掲載することが大事だと知りました。

表現・発信する



PROJECT NAME

かごんま食の豆知識

鹿児島の食を豆知識とともに絵で発信しました！

鹿児島は食が豊かで、その食と絵を繋げて、鹿児島の食について知らない人に届けたいと思い、ホームページ作成と飲食店に設置するスタンドを作成しました。スタンドにはQRコードを貼り、そこからホームページが見れるよう工夫しました。

参加者の声 企画が固まるまでに時間が掛かったのですが、短期間で完成になりましたが、メンバーで分担して完成させました！ 鹿児島の食についてまだまだ知らない部分が多く、もっと鹿児島について勉強したいと思いました！

2019



PROJECT NAME

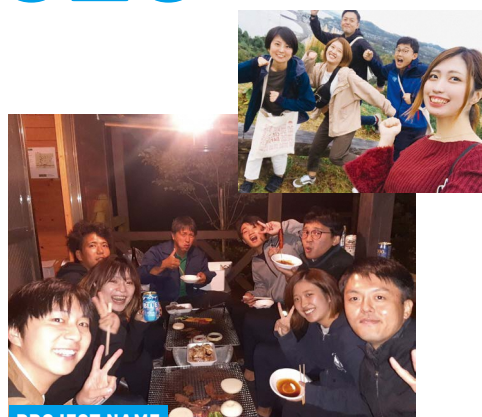
喜入探検隊

“通り過ぎがちな町”と言われる喜入で楽しく遊ぶツアーを実施しました！

喜入に住んでみて、地域の行事が少子化のため縮小していくのを目の当たりにしました。この地に住んでいる人に届けたい、ファンを増やしたい、という想いから、チームみんなで喜入で遊び、地元の人と交流しながら、その様子を撮影し、喜入のPR動画を制作しました。

参加者の声 ツアーの下見に地元の方と行った時、電波が通じない山道で、日も落ちかけの時に軽トラが動かなくなるハプニングが。本番は点検を念入りに行ったので問題なかったです。これからも一緒に喜入を盛り上げられそうな仲間ができました！

2020



PROJECT NAME

喜入ですごろくとキャンプ

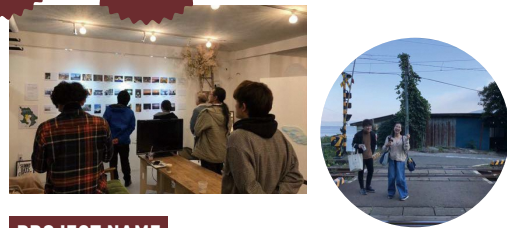
喜入の名所をめぐる、美味しいご飯を食べる、喜入の自然を満喫する企画。

喜入は鹿児島市の中でも自然に溢れたエリア。自然が好きな人や、都市的の生活に少し疲れた人たちが楽しめるような企画としてサイコロの出た目でマスに書かれた場所を巡る「すごろくまち歩き」とキャンプを行いました。ドライブや野菜収穫、地元の食材でのBBQなど、喜入を丸ごと楽しみました。

参加者の声 あまり立ち寄る機会のない喜入ですが、鹿児島市中心部の街中ではできない体験が全部できるまちでした。楽しもうとする人も多し、楽しみ方もたくさんあり、喜入ならではの財産が多いです！

表現・発信する

遊ぶ



PROJECT NAME

鹿児島市24時間写真展

鹿児島市を24時間巡り、遊び、撮影し、写真展を開催しました

まちに対して、受け身のスタンスではなく、自ら遊びを作ることにチャレンジしました。鹿児島市の普段は降りないような駅で降り、これまで気付かなかった魅力に触れながら24時間遊び尽くし、その間に撮影した写真を厳選して、カフェなどで写真展を開催しました。

参加者の声 鹿児島市は、ぼくらが思っているよりずっと楽しくて魅力的でした。何気ない日常の景色に美しさを感じ、人の心を動かせる鹿児島があることに感動！ まちでの楽しみ方を変えたら、こんなに楽しめるんだと再発見しました。

遊ぶ



PROJECT NAME

市内でキャンプ

キャンプのイメージがあまりない鹿児島市内でキャンプを開催してみました！

市内のキャンプ場に行き、BBQでお餅を焼いたり、弾き語りをしたりして、その様子をライブ配信しました。山と海に囲まれている鹿児島でのアウトドアは魅力だと思いました。お酒を楽しく飲み交わせばみんな友達！

参加者の声 ひたすらに自分たちが楽しむことができ、鹿児島の人って本当にサイコーだなと心から感じました。周りの人の得意分野などがキャンプの中で発揮されました。いつかは桜島でキャンプをしたい！

PLAY CITY! パートナーズ

公式プログラム終了後も、まちを楽しむ日々を続けている人たちがいます。
PLAY CITY! DAYS の卒業生で構成されたコミュニティをご紹介します。

PLAY CITY! パートナーズとは？

PCDで生まれた絆やムーブメントがこれからも続いていくため、まちを想う活動を継続したいと希望した人たちが形成され、鹿児島市のシティプロモーションにおける市民発の情報発信ができる母体としてのコミュニティ。

PLAY CITY! DAYSを通して、まちを楽しむ経験をした参加者が、お互いの近況や鹿児島市で開催予定のイベントを共有し合ったり、まちをもっと楽しむ企画やプロジェクトを立ち上げたり。そんなことができるコミュニティです。

パートナーズ企画「Bar PLAY CITY!」



お酒や食べ物を楽しみながら、オンラインでゆるく語り合う場

PLAY CITY! パートナーズが大切にしたいこと

自由であること

何かを投げかけるのも、みんなで集まるのも、自由です。

本業を最優先にすること

このコミュニティに固執して本業を疎かにしない。

「まちを楽しむ」という気持ちを忘れないこと

義務感ではなく、わくわく感や自主性を大事にする。

PLAY CITY! DAYSのその後で生まれた企画

かごトーーク「ジャングルパーク大好き芸人」

PLAY CITY! DAYSの同窓会で生まれた新企画！ 鹿児島市の残したい、懐かしい、「風景」「お店」「文化」「活動」をひたすらに語りまくる！ 第1弾として2005年に閉鎖された「ジャングルパーク」について語り合いました。

写真展 名山、じゅうにじかん。

名山まちあるき隊と24時間写真展チームとのコラボ企画で、名山のまちを12時間掛けて撮り続け、その写真を街角のカフェの壁面に展示！



喜入グリーンファームキャンプ

キャンプチームと喜入チームがコラボして、グリーンファームでキャンプを開催。その様子をライブ配信したり、キャンプファイヤーをしながら、PCDオリジナルソングをみんなで歌いました。



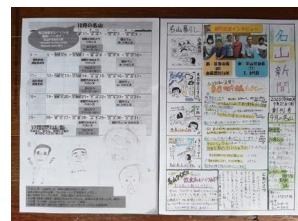
おうちde名山 お持ち帰りスタンプラリー

新型コロナウイルスの影響で、名山でもお客さんが減っていく中、テイクアウトを行うお店の情報を一覧にしたスタンプラリーを作成！ 近くで働く人々が利用し、お店の人から喜ばれました。



名山新聞

まちあるき隊などでの手応えから、名山のメディアをつくりたい！と思ひ、地元向けに、WEBではなく、紙媒体の名山新聞を月1回発行。まちの子供達とまちあるき隊のメンバーで取材・編集しており、地元団体にも協力してもらっています。



PCD2019 参加者の今

2019年のPCD参加者で、2020年にナビゲーター・サポーターとして関わっていただいた4人に
PCDに参加して「あのとき何を感じて、その後どうなったか」をお聞きしました！
(インタビュー記事はnoteに掲載。下記のQRコードからアクセスできます。)

Q1 PCDに参加した感想は？ Q2 PCDで得たものは？ Q3 PCDのその後は？



2019 名山まちあるき隊/
2020 名山サポーター
門間 ゆきのさん

A1 一人ではできないこともみんなと一緒にできる。PCDでまちを知って、まちのおもしろさをみんなで共有できたのが良かった！

A2 自分がやりたいことを形にする時に、その気持ちや人に共有することの大切さです。そして、まちの人に喜んでもらったり、外の人にも楽しんでもらえたという手応えも！

A3 参加者や他のチームとコラボして名山の風景を映した写真展やコロナ禍の飲食店を応援するお持ち帰りスタンプラリーなど名山での色々な活動につながりました！

[PROFILE]名古屋出身。就職を機に2017年から鹿児島市名山町に移住。子どもたちと作る「名山新聞」編集長。名山の集いの場「バカンス」共同オーナー。ツルムラサキ科で食べられる「おかわかめ」のプロデュースもしています。

記事の詳細はこちら



2019 谷山盛り上げ隊/
2020 谷山サポーター
坂西 義光さん

A1 やっぱり「人に出会えたこと」が一番！ 夢やまちの課題を語る仲間たち。普通は短期間でここの関係性はできない！

A2 とにかく元気をもらいました！ 参加した時はちょうど東京・鹿児島での2拠点生活の中で疲れていた時期でもあったので、たくさんの方のポジティブな人に会えました。

A3 PCDの参加者とゆるくつながっている感覚が良いなと思います。特にチームの参加者は、今でも関係性が残っている、というか生きています！

[PROFILE]10年前に鹿児島島に移住。自家焙煎のコーヒー豆販売店をオープン。その後、地域課題を営利事業で解決することをミッションとした会社を立ち上げ、東京と鹿児島でWEB系の販促支援などを行っています。

記事の詳細はこちら



2019 キラキラ天文館/
2020 天文館サポーター
依田 はるかさん(右)
沖 裕子さん(左)

A1 [依田さん] 鹿児島市が変わるのではという期待感、このまちの未来は明るいという想いが湧いてきた。[沖さん] 一番印象深いのは、解散宣言書を見たとき。すごく悲しかった。卒業式当日の朝のような感覚。

A2 [依田さん] やっぱり仲間！ プライベートから仕事から、色々な相談できる仲間たち。まちに居場所を見つけた感じ。[沖さん] 仲間。人の想いとかを受け入れる心持ちをみんな持っている空気感がある。

A3 [依田さん] 沖さんに仕事を手伝って欲しいという話になって、なんでも腹割って話せる関係になった。[沖さん] 参加者やPLAYしている自分を自慢したくなる。そんな自分になれて、特に私はすごく変わったかな～。

[PROFILE]依田さんの所属する会社の企画部門で「good morning」という「朝」にフォーカスしたトラベルとライフスタイルのブランドを立ち上げ、沖さんと一緒にシューズフリッジの販売などを行っています。

記事の詳細はこちら



2019 喜入探検隊/
2020 喜入ナビゲーター
橋口 亮さん

A1 職業や世代も、バラバラな仲間たちと喜入の遊びを共有できて、地域の人にも協力してもらえたのが良かった！

A2 一番は人の広がり、関係性。仕事や今年のPCDに繋がったり、地元の人から相談とか声掛けが増え、喜入で色々活動しやすくなりました！

A3 PCD参加者と何かできそう！という繋がりができていく感じがあります。自分の仕事や活動のヒントをもらって、アイデアの幅が広がりました！

[PROFILE]観光農業公園地域おこし協力隊員。喜入グリーンファームで体験プログラムやイベントの企画・運営・広報を担当。その他、地域の方と草刈りを通じた交流を広げる活動(草刈りツーリズム)に取り組んでいます。

記事の詳細はこちら



鹿児島市シティプロモーション戦略ビジョンを読み解く

全国的に人口減少が進む中、鹿児島市では持続可能な発展を目指して、2019年にシティプロモーション戦略ビジョンを策定しました。鹿児島市が市民とどんな関係性を築いていくのか、そして市域外の人々をどのように巻き込んでいくのか、解説していきます。

背景

鹿児島市では、人口減少などによる将来の活力低下が懸念されており、これから持続的に発展していくためには、鹿児島市ならではの魅力や価値を市民や事業者と一緒に創造し、磨き上げ、高めていく取組が求められています。その一つがシティプロモーションです。

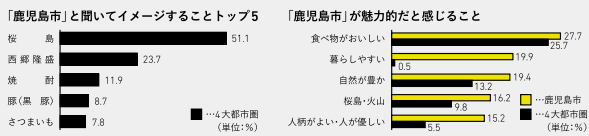
目的

「訪れたい」「買いたい」「支えたい」「住みたい」など、鹿児島市に様々な形で関わる“鹿児島ファン”を拡大するため、多彩な魅力の発信や統一されたまちのイメージを創り、向上させることが、鹿児島市ならではの魅力や価値を高めるとともに、まちへの誇りや愛着を醸成していきます。

シティプロモーション戦略ビジョンの概要

鹿児島市の課題

1. 多彩な魅力が十分に認知されていない
2. 市域外への情報発信が十分でない
3. 若い世代の減少による活力低下の懸念がある



▲ 2018 鹿児島市 イメージ調査

取組の方向性

1. 都市ブランドの確立とシビックプライドの醸成

「食・温泉・歴史・自然・人の温もり」といった独自の地域資源とそれらを体験して得られる価値(体験価値)から結びつく鹿児島市のイメージを確立するとともに、市民や市に関わる方が鹿児島市に愛着と誇りを持ち、まちに積極的に関わろうとする意識を育みます。

2. 戦略的な体験価値の提供と情報拡散の促進

メインターゲットを定め、鹿児島市ならではの体験を通じた感動や喜び、満足感を提供し、SNS等での“口コミ”による拡散を促進します。

3. 関係人口へのアプローチ

市域外に住む鹿児島市に想いを寄せる方が、市内の様々な方とつながったり、地域づくりなどに継続的に関わったりすることによる、まちに活力を生み取る取組を進めます。

鹿児島市のブランドコンセプト

活火山と海が織りなす大自然と、
多様な都市機能が同居する
大らかで温かい雰囲気にもまれて、
人が活力を蓄え、
ともに成長していけるまち。

戦略1 都市ブランディング

鹿児島市シンボルマーク「あなたとわくわく マグマシティ」やマグマシティPRキャラクター「マグニオン」を市の施策で活用したり、市民、事業者の皆さんに使ってもらったりすることにより、それに込められた想いを共有し、まち全体で鹿児島市を盛り上げる雰囲気をつくり、一人ひとりのまちを想う行動やまちの魅力の発信につなげます。

戦略2 ターゲット・ゾーン別のアプローチ

「低関与ゾーン」「交流人口ゾーン」「関係人口ゾーン」の3つのゾーン別にメインターゲットを設定し、属性やニーズに合わせた情報発信や体験価値の提供を図ります。

ブランドコンセプトから導き出された「あなたとわくわく マグマシティ」



桜島を連想させる“マグマ”というフレーズは、鹿児島市のまちや人が持つ“熱量”を表しています。この熱量ある地で生まれた「食・温泉・歴史・自然・人の温もり」は、本市ならではの魅力価値であり、これらを体験した人々を癒し、新たなことに挑戦しようとする思いを育みます。「あなたとわくわく マグマシティ」は、鹿児島市民(赤い糸)と市外の人々(青い糸)が交流する中で、このような思いを共有し、わくわくする未来を紡いでいこうとする鹿児島市のブランドメッセージです。

鹿児島市
シティプロモーション
戦略ビジョンは
市HPへ



おわりに

鹿児島市のシティプロモーションの特徴と言えるのが、本市の地域や人との関わりを仲間とともに楽しみ、その体験を発信すること。そんな情報発信には、想いが込められるので、見聞きした人は共感し、追体験したくなったり、口コミを拡散したくなったりします。

この仲間と楽しむ体験を発信する場として、2019年度にPLAY CITY! DAYSがスタート。これまで250人余りが参加し、本市の様々な魅力を体験して自らのSNSで拡散していただきました。

この事業から確信したことは、「仲間と取り組むから楽しい」「楽しいから続けたい」「楽しんでいながら外の人が入りたくなる」。シティプロモーションを楽しめば多くの人が巻き込まれ、効果が大きくなるようです。

また、2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、オンライン開催としました。参加者も事務局も試行錯誤した結果、DAY4は画面越しからも参加者の感情の高まりが感じられ、本市への愛着、仲間との絆が深まったことを実感しました。

参加者の皆さんには、この絆を大事に、ときに集まって一緒に楽しみ、その様子を発信してほしいです。それを見かけた人も発信するという皆さんのやり取りを目にすることをこれからも楽しみにしています。

鹿児島市広報戦略室
室長 高橋卓也

PLAY CITY! DAYSカタログを最後までお読みいただき、ありがとうございます。

「こんなことをやりたい!」という声から17の企画が生まれた2019年、「このエリアを知りたい」という関心から10地区の企画が立ち上がった2020年、2年間で200人以上の参加者たちが鹿児島市の魅力を掘り起こし、磨き、発信してきました。その熱は桜島のマグマのようで、触れた人が何か動き出したくなる、熱くならずにはいられない、そんな力を秘めている気がします。私も、鹿児島市をどんどん好きになりました。

「PLAY CITY! DAYS」には「まちを楽しむ日々が続く」という意味を込めています。大切にしているのは「楽しむ」こと。なぜなら、「まちのため」という想いも大切ですが、自分が楽しいと思うことこそが、隣の人を、さらにその隣の人を巻き込み、結果として、「まちのため」になるからです。

新型コロナウイルスの影響などで、思い通りにできないこと、壁にぶつかることは多くあります。しかし、ここには、一緒に悩み、選び、納得する道を切り開くことのできる仲間がいます。自信を持って、楽しむことを続けてください。ここから続く、また次の現場で、お会いするのを楽しみにしています!

一般社団法人鹿児島天文館総合研究所Ten-Lab
理事長 永山由高

PLAY
CITY!
DAYS

おもう、つながる、たのしむ